

今月の新着図書

一般

おすすめ 『クリオネのはなし』

高橋邦夫・桑原尚司・國本未華・山崎友資／著 成山堂書店

神秘的な海の生き物として人気のクリオネ。研究史から、生態、環境問題による絶滅の危機、調査方法、ブームになった背景、会える場所まで、クリオネのすべてを紹介する。コラムも掲載。



『化石が語る植物の進化 5 億年史』 矢部淳／著 丸善出版

『今と未来がわかるデータサイエンス』 川村康文／著 ナツメ社

『食って、出して、死ぬ』 ジョー・ローマン／著 米山裕子／訳 河出書房新社

『夏井いつきの「凡人俳句」からの脱出』 夏井いつき／著 NHK 出版

『あんぱん 下』 中園ミホ／作 後藤美奈／ノベライズ NHK 出版

『『種の起源』を読んだふりができる本』 更科功／著 ダイヤモンド社

児童

おすすめ 『ゾウがやってきた』

ホリー・ゴールドバーグ・スローン／作 さんべりつこ／やく しょうがくかん

「こんな大きな動物、初めて見た」 宝くじを当てて莫大なお金を手にした老人ジオは、ある日、偶然出会った少女シラのために、サーカスのゾウを買い取って庭で育てることになり…。奇想天外な家族の愛と奇跡の物語。



『おばけのルルンとハロウィンのともだち』 大木あきこ／作 国土社

『お月さまいつもありがとう』 メリッサ・スチュワート／文 ジェシカ・ラナン／絵 ほか 福音館書店

『どろぼう猫とトキメキのリボン』 小手鞠るい／作 早川世詩男／絵 静山社

『異世界フルコース』 廣嶋玲子／作 しまりす ゆきち／絵 KADOKAWA

『捨てられないずかん』 米田まりな／著 大和書房

「見分けてみよう！おいしいやさいど～れだ？ 秋・冬」 網野文絵／文・写真 汐文社

※出典：TRC-MARC

スタッフのおすすめ

『方向音痴って、なおりますか?』
吉玉サキ／著 交通新聞社

グーグルマップを駆使しても、まずどっちに進めばいいかわからない。勘で進んで合っていればラッキー。方向音痴の私は、同意しかないです。方向音痴の著者が実際に街を歩き、どこで道を間違えるのか分析している姿は、真剣なのになぜか笑えます。
By, てんてん

『いちばんやさしい西洋美術の本』
ミニマル、ブロックバスター／編著 彩図社

西洋美術とはどういうものなのかという所から始まり、時代に沿って代表的な絵とともに有名な画家について1、2ページで簡潔に記されています。また、鑑賞する際に押さえておきたいポイントも優しく解説されていますので、西洋美術について学ぶ第一歩にはオススメの本です！
By, とらやサンダー

じどうとしょ 児童図書おすすめ



きのこの本

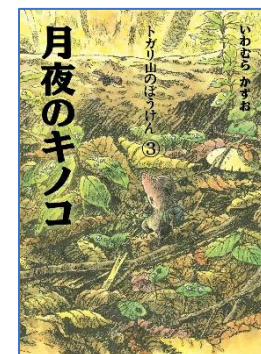


◀ 『キノコのしろちゃん』

しんじゅ 眞珠まりこ／著
はくせんしゃ 白泉社

つきよ 『月夜のキノコ』 ▶

いわむら かすお／文・絵
りろんしゃ 理論社



◀ 『もりのこびとたち』

エルサ・ベスコフ／さく・え おおつか ゆうそう／やく
福音館書店

『きのこ のこのこ ふしぎのこ』 ▶

あらいふみこ 新井文彦ほか／写真

しろうす たかし かんしゅう 白水 貴／監修 ひさかたチャイルド



◀ 『ナミチカのきのこがり』

ふりや 降矢なな／作 童心社